



# 大阪教育大学附属平野中学校

H29年度研究主題 『仲間とともに「考え」「確かめ」「発動する」力を育む授業づくり』

〒547-0032 大阪市平野区流町2-1-24 TEL: 06-6709-9600 FAX: 06-6709-9601 文責: 副校長 野中拓夫

## 次世代の教育を提案する先進的な研究

### 思考力・判断力・表現力の習得を見取るための

### 評価の研究

知識・技能を活用する力としての、思考力・判断力・表現力の習得に向け、意図的に設定された場で、適切に評価するための指標（ルーブリック）を考案。めざすべき姿を言語化し、グロッサリーとして提案予定。



## 「起点」となる事例に取り組むモデル校として

### 財政教育プログラムのパイロット校

一例として、平野地区（小学校）で始まった「財政教育プログラム」を財務省・全附連連携で全国の学校に展開。さらに、校種間連携を活かし、より真正なプログラムとして発展継続中。



## 地域、大学をはじめとする多様な連携

### ◎大教大附属平野地区方式による多様な外部人材の活用

- ・日頃より意識的に収集・蓄積してきた情報から、必要なものを選択し、協力を求める外部人材を決定。
- ・綿密な打ち合わせにより事前学習、事後学習を徹底。
- ・専門家による指導や支援が生徒の学習意欲を刺激し、教育効果を高める。



文楽の太夫をお招きし、義太夫の語りを体験。「伝統芸能っておもしろい！」

### ◎附属の様々なリソースを活かし、大学授業に貢献

- ・本校教員が学部の教科教育法等の授業を担当。
- ・大学院教職必修科目のフィールドとして本校を活用。授業案づくりから、実践、事後指導まで、本校教員が支援。
- ・本校での研究授業記録（動画等）を大学授業で活用。



提案性のある授業の実践に向け、大学教員と本校教員が連携して指導

### ◎地域との恒常的な交流・連携・貢献

- ・地域行事やイベント（祭礼・敬老行事・防犯・音楽行事等）への参加。
- ・地域清掃や街頭募金（災害救助）を定期的に実施。
- ・近隣の住民の方々にも参加してもらい、防犯訓練を実施。
- ・地域の教育イベントに、本校教員を講師として派遣。



伝統的な祭礼への参加をとおして、生徒の郷土愛を育むとともに、地域活性化にも寄与

### ◎子ども理解、保護者理解に寄与する教育実習の提案

- ・五校園間で連携し、異校種での実習を併せて体験することにより、子どもを多角的に見る目を育み、授業づくりに生かす。
- ・「実習生と語る会」を実施。保護者が学校や教員に何を求め、期待しているかを直接聞くことで、教職に就くことへの自覚と責任を刺激する。



「保護者の願いがはじめてわかりました」たくさんの発見がある＜実習生と語る会＞

### ◎卒業生（同窓生）による教育支援

- ・学校行事を重視する教育方針を実現するための、卒業生（同窓生）によるサポート体制を構築。
- ・特に、臨海学舎などの特徴的な行事には、大きな効果があり、教員の働き方改革とも連動したモデルとして提案できる可能性を検証中。



卒業生として、自分の経験に照らしながら、併せて教員の意図も汲むことができ、生徒の心に寄り添った支援ができる

## “チーム平野”としての取り組み

### 附属平野地区共同研究協議会

#### ◎幼・小・中・高・特支による共同研究(H22年度～)

～生涯発達の視点に基づく  
校種間連携型一貫教育～

- ・第4期（H30年度から）の研究テーマ  
「主体性を育む発達評価指標」  
大教大の支援・指導・協働



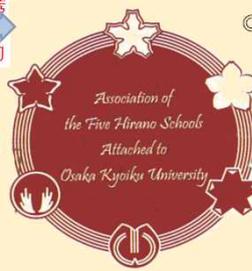
#### ◎五校園連携型教育実習の実施

平野地区異校種間での体験実習プログラム

### 附属平野五校園連合会（「五校連」）各後援会の連合組織

#### ◎五校園相互連携と発展に寄与

- ・「平野標準(各後援会運営の“標準”）」の設定  
→組織の適正な運営  
→運営に要する経費等の適正な取扱
- ・五校園財政の検討
- ・地域との連携



## 地域連携

- ・防災教育・防災活動の地域コミュニティへの普及（五校園・五校連共催）  
後援会員+中・高生による運営、小・幼・特支の子供たち、地域住民の参加（地域自治会・行政と連携）

- ・平野五校園地域連絡協議会 → 地域のニーズを今後の五校園の方向性に生かす

- 地域自治会・団体・行政・企業等と連携
- 地域教育界に貢献

NPOプラス・アーツ  
「イザ！カエルキャラバン」

